

## 他の施策との関連について

## 1 明石市環境基本計画（計画期間：2011年度～2021年度）

## (1) 明石市環境基本計画とは

明石市の環境の保全と創造に関する基本条例に掲げられた基本理念のもと、環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために定めた基本計画である。

## (2) 施策推進の基本方針

「明石の目指す環境像」を実現するため、以下の4つの基本方針に基づき、施策を推進する。

- ① 低炭素社会の実現（個別計画：明石市地球温暖化対策実行計画（区域施策編））
- ② 自然共生社会の実現（個別計画：生物多様性あかし戦略）
- ③ 循環型社会の実現（個別計画：みんなで作る循環型のまち・あかしプラン）
- ④ 安全・安心社会の実現

## 2 明石市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（計画期間：2018年度～2030年度）

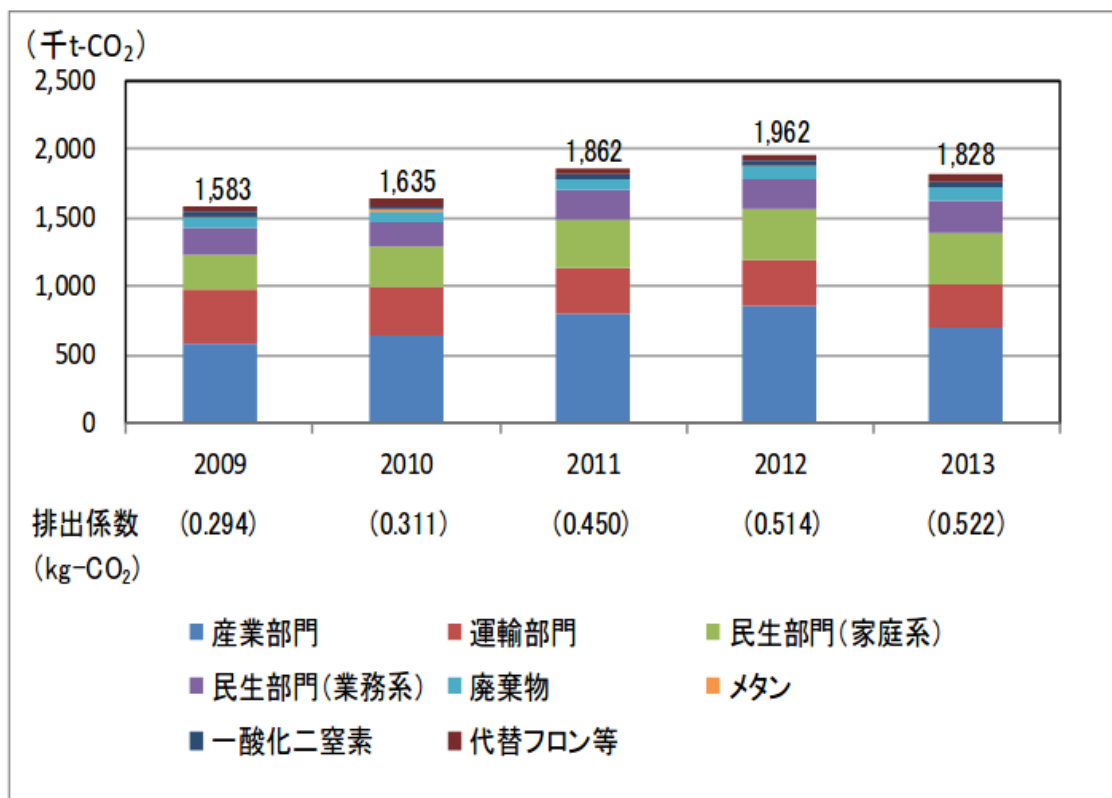
## (1) 地球温暖化対策実行計画とは

地球温暖化対策推進法に基づき、明石市域の温室効果ガス排出削減を図るための施策等を定めた実行計画である。

## (2) 温室効果ガス排出量の削減目標

2030年度に、温室効果ガス排出量を、2013年度比で26.5%（約48万8千トン）削減する。

## (3) 温室効果ガス排出量の推移



#### (4) 削減対策による削減の見込み量

部 門	2013 年度 排出量 (t-CO2) A	現状すう勢 による削減 量 (BAU) (t-CO2) B	施策による削減量 (t-CO2)			電力排出係 数の低下に よる削減量 (t-CO2) F	2030 年度 削減量		2013 年度比目標	
			国 C	県 D	市 E		削減量 (t-CO2) G=B+C+D +E+F	2013 年比 H=G/A	国	県
産 業	703,537	56,063	6,912	19,113	4,721	48,547	108,116	▲15.4%	▲10.6%	▲19.7%
業 務	261,369		85,553	7,697	6,134		104,280	▲39.9%	▲39.8%	▲43.9%
家 庭	376,013		114,445	6,797	9,477		149,332	▲39.7%	▲39.3%	▲43.0%
運 輸	303,028		75,498	12,717	2,480		90,139	▲29.7%	▲27.6%	▲26.9%
その他	197,672		16,207	6,213	685		27,401	▲13.9%	▲12.1%	▲18.7%
吸収源	—		4,211	34	29		4,274	▲0.2%	▲2.6%	▲1.3%
合 計	1,841,619	56,063	302,835	52,571	23,526	48,547	483,542	▲26.3%	▲26.0%	▲26.5%
削減率	—	▲3.0%	▲16.4%	▲2.9%	▲1.3%	▲2.6%	—			

※ 産業部門の取組とは、省エネルギー性能の高い設備、機器等の導入促進、再生可能エネルギーの最大限の導入など

※ 吸収源としての取組とは、森林吸収源対策、都市緑化等の推進など

### 3 気候非常事態宣言（2020年3月23日）

#### (1) 概要

誰もが安全に安心して暮らし続けられる社会「SDGs 未来安心都市」を目指す本市として、SDGs の目標 13「気候変動に具体的な対策を」に取り組むため、「気候非常事態宣言」を表明。

#### (2) 市の取組方針

- ① 地球温暖化に起因する気候変動の脅威や迫り来る危機を市民へ広く周知啓発します。
- ② 温室効果ガス排出抑制に取り組み、2050年までにCO2排出量と吸収量の均衡をとる「実質ゼロ」を目指します。
- ③ 市民をはじめ行政機関や関係団体と連携し、ごみの減量・再資源化や省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの利用拡大などを加速させるとともに、他の地方公共団体に「気候非常事態宣言」についての連携を広く呼びかけます。

#### (3) 国の動き（成長戦略会議）

政府は、2020年7月17日に閣議決定した「経済財政運営と改革の基本方針2020（骨太方針2020）」に基づき、成長戦略の具体策を検討する成長戦略会議を開き、重要政策を実現するための実行計画をまとめている（2020年12月1日）。

成長戦略の重要政策として2050年までの温室効果ガスの排出量実質ゼロにむけて、2030年時点での技術目標を設定する。温暖化対策は企業にとって、もはやコストではなく、競争力の源泉となっており、環境と成長の好循環の流れを一層加速させるため、生産プロセスにおいて省エネ化や脱炭素化を図る企業に対して設備投資に向けた支援を実施する予定。

#### 4 生物多様性あかし戦略（計画期間：2011年度～2060年度）

##### (1) 生物多様性あかし戦略とは

生物多様性基本法第13条に基づき、明石市域における生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する基本的な計画である。

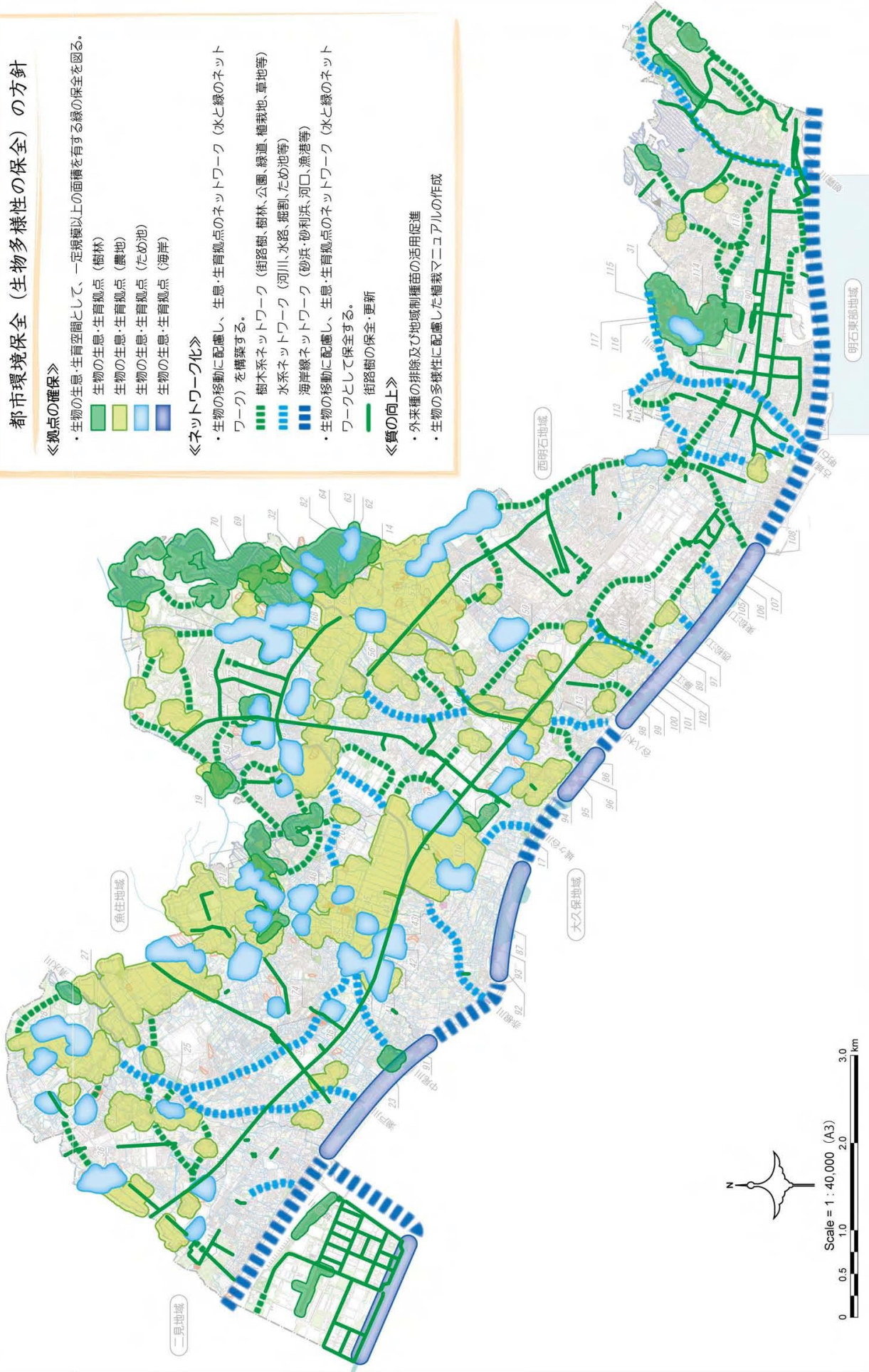
##### (2) 目標

「いろいろな生きものが生息・生育するまち“あかし”～水と緑でつなぐ命のネットワークづくり～」を目標に掲げ、身近な場所で生きものが暮らし、自然と人が共生するまちとなるよう、水と緑でつなぐ命のネットワークづくりを推進し、豊かな生態系のネットワークづくりを目指している。

##### (3) 計画における事業者の役割

事業活動が生物多様性に及ぼす影響を把握し、環境・生物多様性に配慮した事業展開の推進や事業所内の緑化を推進する。また、行政を含む環境保全活動に取り組む市民、市民団体などと連携、協働した活動などを実施するよう努める。

# 「ネットワークのイメージ図(生物多様性あかし戦略)」



## 都市環境保全（生物多様性の保全）の方針

### 《拠点の確保》

・生物の生息・生育空間として、一定規模以上の面積を有する緑の保全を図る。

- 緑色の生息・生育拠点（樹林）
- 黄緑色の生息・生育拠点（農地）
- 水色の生息・生育拠点（ため池）
- 藍色の生息・生育拠点（海岸）

### 《ネットワーク化》

・生物の移動に配慮し、生息・生育拠点のネットワーク（水と緑のネットワーク）を構築する。

- 樹木系ネットワーク（街路樹、樹林、公園、緑道、植栽地、草地等）
- 水系ネットワーク（河川、水路、掘削、ため池等）
- 海岸線ネットワーク（砂浜、砂利浜、河口、漁港等）

・生物の移動に配慮し、生息・生育拠点のネットワーク（水と緑のネットワーク）として保全する。

- 街路樹の保全・更新

### 《質の向上》

・外来種の排除及び地域制産苗の活用促進

・生物の多様性に配慮した植栽マニュアルの作成

## 5 明石市緑の基本計画（計画期間：2011年度～2021年度）

### (1) 緑の基本計画とは

緑の基本計画は、都市緑地法第4条に規定される計画であり、市町村が緑地の保全や緑化の推進に関して、その将来像、目標、施策などを設定し、総合的かつ計画的に実施するために策定する計画である。

### (2) 都市における緑の効果・効用と施策方針

「緑の効果・効用」を最大限に発揮して、8つの「具体的な取組み」を実施することで、緑に関するまちづくりの課題解決を図るものとしている。

さらに、「具体的な取組」ごとに、「拠点の確保」や「ネットワーク化」、「質の向上」に関する方針を設定している。

緑の効果・効用	具体的な取組	質の向上
都市環境保全機能	温暖化の防止	大気浄化能力の高い樹木による緑化の推進
	生物多様性の保全	外来種の排除及び地域制種苗の活用促進 等
防災機能	避難安全性の確保	防火性の高い樹木による緑化の推進 等
	浸水被害の軽減	ため池の親水公園化等による保全・活用 等
景観形成機能	まちの活性化・郷土愛の醸成	明石らしさを感じる植物資材による緑化推進 等
	生き生きと過ごすための場づくり	公園リニューアルの実施 等
文化・レクリエーション機能	次世代の育成の場づくり	コーディネーター等の育成とその配置 等
	地域活動の場づくり	公園愛護会の連携や活動のオープン化 等

### (3) 緑化の目標水準

年次	1999年度調査	2010年度（現計画）		2019年度調査
	実態	実態	目標	実態
緑被	1295.3ha(26.3%)	1374.1ha(27.9%)	現状値以上	1260.8ha(25.6%)
うち樹林地	339.8ha(6.9%)	369.4ha(7.5%)	現状値以上	507.3ha(10.3%)
うち草地	211.8ha(4.3%)	280.7ha(5.7%)	—	251.2ha(5.1%)
うち田畑	743.7ha(15.1%)	719.1ha(14.6%)	—	497.4ha(10.1%)
水面	187.2ha(3.8%)	206.9ha(4.2%)	—	197.0ha(4.0%)
うち河川・水路	14.8ha(0.3%)	19.7ha(0.4%)	—	24.6ha(0.5%)
うちため池	172.4ha(3.5%)	187.2ha(3.8%)	—	172.4ha(3.5%)
緑被＋水面	1482.4ha(30.1%)	1580.9ha(32.1%)	現状値以上	1452.9ha(29.6%)

\*表中の数字は市域面積（4,925ha）に対する割合

\*緑被＝樹林地＋草地＋田畑 水面＝河川・水路＋ため池

\*工場緑地は、樹林地及び草地に属する。

\*面積の算定方法は、航空写真により10m×10m以上の面積を持つ緑をカウントしており、すべての工場緑地（53.2ha）を含んでいない。

\*小数点を四捨五入しているため、小計が一致しない場合がある。



# 「2019年度調査による緑被状況」

